

熊本地震による建物の倒壊によせて
設計、工事、販売をご担当の皆様

まずは、突然の不躰な質問をご容赦下さい。

皆様が提供している木造住宅の耐震性能は十分でしょうか。

先日からの熊本地震では、初めの揺れには耐えていた建物が、次々と発生する余震で倒壊してしまいました。その様子を告げる報道に接するたびに、身を締めつけられる思いです。

現行の耐震技術の基本的な考えは、僅か一回の地震に対する耐震性能を確保する計算方法を示したものです。新築、耐震改修建物の多くはこの耐震性能の最低値を目標としているのではないのでしょうか。

熊本地震に示される、余震による多くの建物の倒壊を前にして、この考えは根本から覆されなければならないでしょう。

ここに至り、本震に続いて繰り返す余震に対しても十分に配慮した構法が求められています。

我々は、小さな地震や交通振動による建物の振動曝露が耐震性能を劣化させることに着目し、劣化が極めて少ない耐震要素の開発を継続してまいりました。そして、繰り返し行われた実験検証の成果の一つとして、I T Sセーフティウォール（S W）複合鋼板壁を商品化しております。

是非、弊社のホームページを検索していただき（新技研でご検索ください）、技術資料の「NO.2 鋼球の衝突による微小変形時における減衰」の自由減衰振動曲線、「NO.3 大地震に対する耐久性能の比較」在来の耐震要素との耐久性能の比較のグラフ、「NO.4 I T Sセーフティウォール（S W）複合鋼板壁の振動台試験」の動画をご覧ください。I T Sセーフティウォール（S W）複合鋼板壁の優れた耐震性能をご理解いただけたらと思います。

また、I T Sセーフティウォール（S W）複合鋼板壁は、多くの軸組構法住宅（新築、耐震改修）や重要文化財（耐震改修）等に使用していただいております。

是非、I T Sセーフティウォール（S W）複合鋼板壁の採用を検討していただきたいと思います。

御社のご発展と皆様のご健康を願っております。

平成 28 年（2016）5 月吉日

有限会社 新技研

代表取締役 塚越 勇

有限会社 新技研

〒461-0045 名古屋市東区砂田橋 5-9-17 末廣ビル 203

TEL : 052-799-9790 FAX : 052-799-9792

E mail :info@shingiken.com

代表取締役 塚越 勇 携帯 : 090-6091-3251